



学校 2 学期制説明会（市民会館）

れまでと違った視点の研修により時代に対応した新しい人事制度に反映させることが重要と考える。新しい人事制度として、総合職と専門職を組み合わせた人事異動などを実施する計画である。今後部課長を中心とした検討委員会、係長や公募職員によるワーキンググループにより具体的な検討作業を進めたい。

それに加え、職員の意識改革に力点を置く。市民の目線で行政を進めることが重要である。

総務部長 まず、市の意思を形成するよつな部長職・課長職が先頭に立って意識改革を進めていくべきだと考える。

教育長 (2) 1つの園では10月までサポート員1名の雇用を延長

したが、他については2学期以降は園生活への順応が図られるととらえ1学期までの雇用とした。2学期以降は担任や主任の協力体制のもと教育できるようなつたたと報告を受けている。大規模な催しの際には保護者・役員との協力を得ている。

学校・町内会・幼稚園・保育園等への各種広報紙や、学年PTAなどでの説明会、ホームページにより周知・理解の推進を図っている。

(その他の質問事項)

- ・ 予防接種手帳
- ・ インフルエンザの予防接種
- ・ 公共下水道の整備計画

食農育で、子供はあせらず ゆっくり、育みましょう

山口議員 (1) 農林行政について

農免道路(田久保・溝陸間)において、産廃堆肥化施設の建設に伴い、大型工事車両も頻繁に通行している事等考慮に入れ、交通安全対策について次の点を実施できないかお尋ねします。

道路の路側線及び、カーブの中央線の引き直し

小学生の通学路として登下校

時に横断する箇所に、押しボタンの信号機の設置

(2) 教育行政について

遠距離通学助成制度の要綱が今年度より変更されたが、3年後に、H8年度以前の補助対象基準に戻る事は承服しかねますが、今後の見通しについてお尋ねします。

現在、三浦地区に子供の社会性、創造性を自然のままの自由な遊び場で育んでいこうという取り組み、「三浦野生の森」計画が立ち上がるつとしていますが、この計画にどのようなサポートをしていただけるのかお尋ねします。

農林水産部長 (1) 現状を調査し

たところ中央線や路側線あわせて半分ほど消えていた。危険度の高いところから早急に取りかかりたい。

押しボタン式信号機の設置について大村警察署によると、市内の設置要望が多数あり急を要するところから順に設置している状況であった。市としては地元町内会や交通安全協会等と一緒に交通量や歩行者の横断状況を確認し、要望していきたい。

市長 (2) 基本的には激変緩和策

としての助成制度の状況下であるが、安全確保の観点からも関連が無いわけではない。18年度

は今年度75%助成の継続を前提に当初予算編成に当たりたい。

地域の方々が立ち上がり力を

結果して取り組まれていることは大変意義深いと評価する。陳情内容を十分精査し、今後詳細な事業計画などを提出していただき、支援できないか検討したい。先進地の情報収集も進めながら積極的に感心を持っていき

(その他の質問事項)

食育についての取り組み
西部(江川)の土砂の除去

**財政破綻が現実化!!
もはや許されない
官のゆるみと民の甘え!!
みんなで取り組もう 実現へ!!
第4次行政改革に!!**

和崎議員 (1) 総務行政について

18年度から5年間であらゆる角度から行政改革を進め40億円の財源確保をしようと、第4次財政計画は今までにない取り組みであるが、18年度10月には市長選挙を控える中、続投しなくては、この計画、「絵に描いた餅」になる恐れあり。松本市長の決意をお聞きしたい。次には団塊世代の退職金200名分が概算40億円。果たして退職金が支払い出来るの